

自然 Nature

豊かな自然環境を町民の財産として後世に継承していくとともに、環境保全に対する意識の高まりを踏まえ、環境との共生に配慮した持続可能なまちづくりを進めています。



那須連山

那須連山は、四季折々に変化する景色で訪れる人々を魅了します。春のミネザクラ、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の白銀の世界。さらに稀少な高山動植物は自然をそのまま現在に残す、貴重な自然資源となっています。

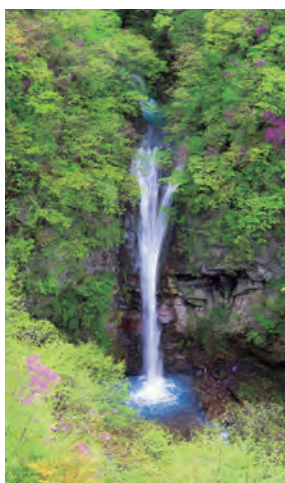


那須平成の森

上皇陛下の「那須御用邸の森の約半分を国民が自然とふれあえる場としてはどうか」というお考えに端を発し、平成23年に開園しました。現在では「ガイドウォーク」をはじめとする様々なプログラムが実施されています。

駒止の滝

那須平成の森には、駒止の滝を一望できる観瀑台があります。季節により様々な表情を見せてくれます。



国指定名勝

「おくのほそ道」

風景地

殺生石

殺生石は、那須岳の丘陵が湯本温泉街にせまる斜面の湯川にそつたところにあります。大昔、中国やインドで悪行をつくしたという「九尾の狐」伝説にまつわる史跡で、国指定名勝となっています。九尾の狐は石と化し毒気を吐いていましたが、源翁和尚により教化され3つに割れたと伝わります。また、俳人松尾芭蕉はこの地を訪れた句を詠んでいます。「石の香や 夏草赤く 露あつし」



遊行柳

江戸時代、奥州道中の開設とともに芦野は宿場町、城下町として栄えてきました。松尾芭蕉はおくのほそ道の道中、高久、湯本を訪れ、芦野の遊行柳では「田一枚植えて立ち去る柳かな」の句を詠んでいます。遊行柳は、平成27年3月に国指定名勝「おくのほそ道の風景地」に指定されました。



伝統芸能

(時庭神楽)

地域に根ざした伝統芸能や、地元発祥の伝承に努め、後継者の育成に取り組んでいます。



歴史 History

町民の生活の質を高める文化に日々親しみ、活躍することのできる環境を整えるなど、人材育成のまちづくりを進めます。

那須歴史探訪館

那須町は古くから文化伝播の経路にあり、遺跡、史跡が数多く残されています。那須歴史探訪館は、町の歴史を「道」をテーマに展示しています。那須の風土、生活を学べる施設です。

